

所要時間~ 30分予定

簡易作曲講座

はじめに

- × 作曲講座と称していますが正しくは青田流の「時間をかけない」ことを目標にした作曲方法を紹介します。
 - × 今回最低限必要な知識はスケールとコードについてです。
 - × スケールとコード進行に関しては先に決めてあります。
- ※（多くの作曲家はメロディを決めてからそれにあったコードを見つけてスケールを決めるそうです。僕はメロディが思いつかないので外側を作ってからピースをはめるような方法を用いています。）

作る曲

- × 今回は既存の曲を再現するような講座です。
- × 飛空艇に乗ってるような疾走感ある感じのゲームミュージック作ります
- × BPM 160 くらいに設定してください。

適当にスケールとコード進行決めます

× スケール Gメジャー

× 進行

× Aメロ

Em Am C G

(作ってるうちに他の音が欲しくなったので結果的に

→ Em7 Am7 Cadd9 Gadd9)

Bメロ

G Dm Em Am

→ Gadd9 Dm7 Em7 Amadd9

作る手順

- × ベース
 - × コード、
 - × 装飾音orメロディ
- 好きな時にドラム追加

パートわけに関しては
ベースでもコードパートに入っていたりと混合
してますが見逃してください。

最初に

- ✖ ミキサーのマスターチャンネルに確認用のマキシマイザーをパラメータ 0 にして差しておきます。

途中でバランスの確認やどのくらい出来たか確認するときにパラメータを上げて再生します。（はじめからかけててもいいけど）

ベース

deep追加

コード

Tangerine dream

Trumpet (wind)

Octaver orchestra (オーケストラなんたら)

Flute (wind の中) 追加

装飾 1

✕ Swell追加

少し目立たせたいのでSwell

なんとなくEQ2を設定します



ドラム

× キックと ハット (スネア) 追加

×

装飾音 2

- × Glass(Bess)
- × Trancechorder追加
- × Trancechorderにデフォルトのリバーブ2かけときます。

В × Д ^

メロディ

- ✕ Synth1
- ✕ Basic subtracting 4
- ✕ Pizzicato
- ✕ cello 追加

なんとなく好みの問題で

celloのvolのENVを適度な山みたいに
Basic subtracting 4に少しディレイかけときます。

Pizzicato にEQ
とデフォルトのリバーブ
かけときます。



装飾

× サイドチェイン用キック追加

適当なキック追加

ミキサーへ登録。

マスターへの出力は0にしておく。

サイドチェインしたいチャンネルに音量0で信号だけ出力。

（今回はTrancechorderのチャンネル）

サイドチェインする側のチャンネルにリミッタ登録。

コンプ設定にしてサイドチェインを1に設定。

THRESを低くしてRATIOを大き目に設定。

サイドチェインキックをプレイリストに追加。

最後に
